

平成22年度 吉野中学校 学校評価検討委員会

平成23年2月17日(木) 19:30～

吉野中学校 校長室

《参加者》

学校評議員 廣海美穂子さん, 西村久江さん

PTA 役員 坂東正志会長, 市川和彦副会長, 吉岡嘉則副会長, 櫻井一樹副会長

本校職員 瀬尾校長, 香川教頭, 川村教諭

1 学校長あいさつ

2 学校評価結果説明

【「自己評価」より】

- (1) 教育課程関係については、本年度は「家庭学習の手引き」を生徒に配布するとともに、ホームページ上に公開して、家庭学習の充実の啓発に努めた。また、3年生の数学では習熟度別学級を新たに編制し、きめ細かな個別指導で「わかる授業」を実践することができた。一方で1年生の数学と英語にもTTを導入して「中1ギャップ」の防止に努めた。全体的に教職員が情熱を持って連携を深め、きめ細かな個別指導を行い、規律ある授業を実践できた。
- (2) 生徒指導関係については、生徒の小さな変化も見逃さないように、観察・指導にあたり、スクールカウンセラーとも連携して、個別の対応がとれた。また、校則やあいさつ運動の徹底や、儀式の整然とした実施、学校行事への生徒の主体的な参加等にも指導・支援を行い、生徒が安心して通える学校づくりに取り組めた。今後も教員と生徒が信頼関係で結ばれた生徒指導の推進に尽力し、地域や関係諸機関とも連携して、子どもたちの成長を見守っていききたい。
- (3) 健康教育については、年間を通して、食育や薬物乱用防止や救急法について、計画的に講演会や実習を行うことができた。生徒の心身の成長に関係する部活動については、生徒数の関係で再編成も考慮する必要がある。保護者とも連携して、生徒一人ひとりが生き生きと取り組める部活動を実践したい。安全教育についても避難訓練や交通安全教室等で指導を行ったが、交通マナーについて地域の方から注意をいただいた。今後は下校指導やパトロールを行うなどして、交通指導の徹底を図りたい。
- (4) ボランティア活動については、生徒会を中心にエコキャップを回収したり、吉野川の堤防の清掃を行ったりするなど、熱心に取り組めた。情報教育については、コンピュータ室や英語教室の設備を活用して、有意義な授業を行っている。また、「ケータイ安全教室」を実施して情報モラルについても指導することができた。
- (5) 人権教育については、様々な人権問題について学び、地域教材にも取り組めた。今後も、人権意識を育て、進路指導の充実と、あたたかい人間関係の構築に努めていきたい。総合的な学習の時間については、職場体験学習やノーマライゼ

ーション体験を通して、学校以外の世界を学ぶことにより、「生きる力」を養うことができた。また、「仲吉ノート」を毎月活用して、行事のたびに生活の中から自分を見つめる機会も持つことができた。

- (6) 道徳教育については、新たに年間指導計画を作成し、全ての教育活動において、自らを律し、他者と協調できる豊かな人間性を育てることを目標に、指導を行った。
- (7) 特別支援教育については、家庭との連携を取りながら、生徒が生き生きと個別学習に取り組むことができた。校内研修や映画会も積極的に行い、教員・生徒ともに、特別支援教育への理解を深めることができた。
- (8) 学校事務については、その状況に応じた効率的な対応ができた。計画的な予算執行や、個人情報管理に留意したい。

【「生徒アンケート」より】

- (1) 学習については、約8割の生徒が目標を持って前向きに取り組んでいる。一方、家庭学習に熱心に取り組んでいる生徒は約6割と低い状況にある。「家庭学習の手引き」の改善と活用をさらに進め、家庭学習の充実の啓発に努めていきたい。
- (2) 通知票やテストの成績表については、8割以上の生徒が肯定的にとらえ、自己の学習に役立てている。
- (3) 健康教育については、約8割の生徒が肯定的にとらえている。
- (4) 進路指導については、学年が上がるにつれ肯定的にとらえる生徒が増えている。
- (5) 学校行事については、時期や内容、回数とも肯定的にとらえている生徒が多い。
- (6) 学校の施設・設備についても、約7割の生徒が整っていると答えている。今後は、それらの管理を十分に行うとともに、使用する子どもたちにも大切に扱うように指導を徹底していきたい。
- (7) 人権教育についても意識は高いが、授業で意見をしっかりと発表できる生徒は少ない。また悩み事がすぐ相談できるという生徒は約5割と少ない。今後は日常生活での人間関係をより良いものとし、仲間作りを進めていきたい。
- (8) 「仲吉ノート」の活用に対する評価が高まっているが、5割を切っている。本校独自の「仲吉ノート」が十分に活用できるよう職員研修を重ねるとともに、子どもたちにとって「仲吉ノート」が身近なものになるよう使用法についても見直していきたい。
- (9) 7割以上の生徒が、部活動に積極的に参加できており、部活動に対する意識は高い。一方部活動に参加していない生徒の割合も年々増加傾向にある、部活動の再編も含めてより多くの生徒が生き生きと活動できるような体制づくりを進めていきたい。
- (10) 8割以上の生徒が、生徒会活動（専門委員会を含めて）に積極的に取り組んでいる。今後はあいさつ運動や校歌斉唱等の指導にもさらに力を入れ、自ら周辺環境を整えられるような愛校心を涵養していきたい。
- (11) 全体的に、生徒自身は毎日の学校生活に真剣に取り組めており、特に、生徒会

活動・部活動・学校行事に対する生徒の意識の高さが感じられる。これらの活動を通してさらに多くの生徒が充実感や成就感をもち、自尊感情を高めていけるよう取組を進めていきたい。

《 学校生活に対する意見 》

○ 続けて（増やして）ほしい行事

文化祭（103） 体育祭（69） 遠足（14）
アドプト・ボランティア活動（9） 餅つき大会（9） 修学旅行（7）
激励会（5） 生徒総会（2） 職場体験（2） 総体（2） 講演会（1）
音楽会（1） 入学式（1） 卒業式（1） 任命式（1）

○ なくしてほしい行事

体育祭（21） 餅つき（9） 参観日（9） 任命式（3） 文化祭（3）
除草作業（2） 三者面談（1） 歯科検診（1） 卒業式（1） テスト（1）
防災訓練（1） 激励会（1） 講演会（1）

【「保護者アンケート」より】

- (1) ほぼ7割以上の保護者の方から、本校の学校運営（教育活動・安全性・学習指導）について、高い評価をいただいている。
- (2) 特に評価の高い項目
「学校の施設や設備は美しく整い、安全に保たれている」 88.2%
「学校は生徒一人ひとりが安心して通える学校づくりを行っている」 84.5%
「通知表『仲吉』やテストの成績表から、子どもの学習の様子がよく分かる」 82.7%
「学校からの通知や便りは子どもを通して正確に受け取れている」 82.1%
「年間計画のなかで、行事の実施時期は適切である」 80.0%
- (3) 昨年度と比較して、特に評価が上がっている項目
「通知表『仲吉』やテストの成績表から、子どもの学習の様子がよく分かる」 +2ポイント
「学校は生徒の一人ひとりにあった進路指導をしている」 +3ポイント
「学校はPTA活動がしやすいような運営を行っている」 +4ポイント
「学校は、生徒指導を適切に行い生徒の心身の向上に努めている。」 +1ポイント
「学校は、生徒が学習に取り組む雰囲気を作られている。」 +1ポイント
「『仲吉ノート』を通して、人権について子どもと話し合えている」 +5ポイント
- (4) 特に評価の低い項目
「PTA行事に保護者が積極的に参加している」 46.2%
「『仲吉ノート』を通して、人権について子どもと話し合えている」 49.1%
「学校は保護者や地域の人々と情報交換をする機会を定期的に持っている」 53%
- (5) 本校の成績表については、昨年度より個人の希望に応じて順位を記入することにしており、ほとんどの生徒が順位の記入を希望している。そのためか、昨年

より「よくわかる」と答えた保護者の割合が増加しており、8割以上の保護者から、現状の記載方法について理解されているようである。

- (6) 人権教育・進路指導・健康教育・部活動についても、8割近い高評価をいただいている。今後も充実を図っていきたい。
- (7) PTA 活動についてもある程度の評価を頂いているが、「わからない」という回答が他の項目に比べ多く見られた。PTA 活動に積極的に参加している保護者の方と走でない方の意識の差が激しい状況が見受けられる。活動についてのご理解・ご協力を得られるよう広く広報に努めたい。
- (8) 生徒指導についても8割近くの保護者が「あてはまる」と答えおり、ある程度ご理解いただいている。今後も、家庭と連携をとり、生徒の生活習慣や規範意識の育成に、継続的な指導を心がけたい。
- (9) 施設・設備の美化や安全性についても高い評価をいただいた。
- (10) 地域との連携を充実させるためにも、「開かれた学校」づくりをめざし、今後も情報を発信していきたい。

3 意見交換

○ 授業態度について

- ・騒いで授業のじゃまをするようなことはないか。
- ・授業中に騒ぐということは、進路保障を妨げることであり、友達の権利を奪うことになることを担任がそのときに応じて指導している。
- ・3年生は勉強したいという気持ちの子もかなりおり、3年になり進路決定の時期になると前に向いてくるようになってきた。
- ・授業によって態度が変わるとするのは中学校の永遠の課題である。小学校では授業が成立しないとすると、即、学級崩壊であるが教科によって先生の替わる中学校のいいところでもある。授業によって態度を変えることは、人間として卑怯なことであることを教えたい。
- ・得意な教科と不得意な教科によっても違いがあるのではないか。
- ・1・2年生のとき不安定であったのが、3年生でまとまったというのは、素晴らしいことである。
- ・人権の活動で1年生が多く参加してくれたが、男子も女子も素直な感じを受けた。

○ 教師と生徒の関係について

- ・昔は近寄りがたかったが、今は教師と生徒の距離が近くなっている。
- ・3年生になり面接の練習になると、その場に応じた言葉遣いができるようになり自分自身をコントロールできるようになる。
- ・自尊感情・希望がもてれば大丈夫だと思う。

○ 読み聞かせについて

- ・最初、無反応で下を向いている子もいたが、今は静かに熱心に聞いてくれ、お礼も言ってくれる。無反応な時には本当に受け止めてくれるか疑問に感じる。子どもにも感想を求めることも必要である。
- ・今の子どもは、読書量が不足している。PISA の学力調査でも順位が落ちてきてい

ることからも、言語教育の重要さがうかがわれる。

- あいさつについて
 - ・ 毎朝、交通指導に立っているが、吉野中学校の生徒はよくあいさつをしてくれる。
- 数学の習熟度別学習について
 - ・ 自分の希望で分かれている。
 - ・ 大変いいと思う。違うクラスの子とも一緒になり変化があつて素直に入っていける。
- 餅つき大会について
 - ・ 1人暮らしのお年寄りには楽しみにしている。とつておいてお正月にいただくという方もあり、とても喜んでいる。
 - ・ 来年も是非続けたい行事である。
- 職場体験について
 - ・ 昨年までは1日の体験であったが、本年度は2日間実施した。生徒を受け入れていただいた事業所の方にも好評あつた。
 - ・ 郵便局などで体験していた生徒はすごく楽しそうであつた。
 - ・ 最近の子どもは家庭でもほとんど手伝いをする機会がないからいい経験になっている。
- いじめに関する意識について
 - ・ 全国学力調査・学習状況調査において、「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」という設問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が県や全国に比べて、かなり高くなっている。
 - ・ この意識が大変素晴らしい。
 - ・ これは3年生の意識であるが、他の学年の生徒についてもこうあつてほしい。
- 体育祭・文化祭について
 - ・ 体育祭、文化祭等への保護者の参加者が多い。
 - ・ 体育祭は、保護者の参加種目が多く、家庭的な雰囲気楽しく参加できる。
 - ・ 文化祭の焼きそばのバザーもお母さん方がどんどん入つてきて楽しい雰囲気になつてきている。
 - ・ PTA活動に参加する人とあまり参加しない人があり、二極化している。
- 参観日について
 - ・ 参観日は年2回（PTA 総会の日・餅つき大会の日）実施している。他にも文化祭等の学校行事で保護者の方に学校の様子を見ていただく機会を多く設定している。
 - ・ 参観日に学校にこなくてよいという子どもが多いのではないかと。
参観日には1年生はほとんどの保護者が参加していた。体育祭への保護者の参加も大変多い。
- 生徒の外泊禁止について
 - ・ たとえ親同士が了解していてもいけないのか。友達の家泊まつてはいけないという明確な理由はあるのか。
 - ・ 未成年者だから深夜徘徊になる。健全な生活を送りにくくなる。親の目が行き届かない。事件や事故に巻き込まれる可能性があり危険である。友達の家泊まっているとは限らない等。